

ヘルプカードとは

障害のある人には、自ら「困った」となかなか伝えられない人がいます。手助けが必要なのに、「コミュニケーションに障害があって、困ったことをなかなか伝えられない人」、「そもそも困っていることを自覚できない人」もいます。「ヘルプカード」は、障害のある人が普段から身につけておくことで、緊急時や災害時、困った際に、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。

どこで手に入るの

カードをどのように作成して配布するかは、実際に作成する都内区市町村が決めていきます。

一緒に、
すけだち
いたそう。
障害のある人が困っていたら、
ちょっとした配慮や手助けを
お願いします。

障害のある人が困っていたら

- 「どうしましたか？」と声をかけてください。
- 相手に伝わっているか確かめながらゆっくり話してください。
- ヘルプカードを持っていたら、手助けしてほしい内容が記載されています。
- 記載内容は、障害のある人一人ひとり違います。下記は記載例です。

氏名 日野 太郎

緊急連絡先 (□□ □□)

TEL : 〇〇〇-△△△-□□□□

《情報カード》

私は 耳が不自由 です。

筆談か手話でお願いします。

ちょっとした
あなたの手助けが
障害のある人の安心に
つながります。